



環境みらい

発行所

NPO法人環境みらい下関
〒751-0847
下関市古屋町一丁目18番1号
電話 (083) 252-7220
FAX (083) 252-7222

故郷



私の故郷は、福岡県の久留米市（旧浮羽郡）です。7月の集中豪雨では、被害状況がニュースで再々報道された所です。ここ数十年来このような被害が出たのは、大変珍しく平素は、自然災害とは無縁の街で、植木直売・フルーツ観光「巨峰発祥の地」として知られており、暮らしやすい街だと思っています。

これも、世界的な温暖化・異常気象の影響なのかわかりませんが、ゲリラ豪雨は嘗ては見られない現象で、少なからず影響していると思われまます。これからの防災計画は、従前に捉われない備えが必要であると感じました。

卒業後は、某化成品メーカーに就職し、約10年間大阪の街で過ごしました。大阪は気取らない街で、住みやすかったことを記憶しています。当時は阪神タイガース、吉本新喜劇の活躍が目覚ましく、関西イズムとまで言われ、東京には無い、パワーとエネルギーがありました。ただ、水道水については、琵琶湖系の水脈であったため、特に夏場はカルキと藻の異臭が強く、そのまま飲むにはかなり閉口しました。また、立地的には、京都・奈良・兵庫・和歌山などの観光名所なども近く、

数多くの観光地を訪れる機会に恵まれました。

当時思ったことは、故郷の素晴らしさや都会の素晴らしさが、住むことによって、客観的に評価出来た事です。田舎では、当たり前の普段の生活を、都会で手に入れようと思ったら、莫大な費用がかかります。お金では手に入らない物も数多くあります。

要は、小さい頃から存在するものには、なかなか価値を見出さない。違う環境を体験して、始めて見えてくるものがあります。翻って下関はどうでしょう。素晴らしい景観や名跡が数多く点在しています。地元の人たちは、このことに誇りをもつこと、大いに自慢することが必要です。下関に移り住んで20年の歳月が経過し、第二の故郷になりつつありますが、初めて関門海峡を眺めたときの感動が徐々に薄れていく自分に気付くことがあります。数十年経ってもこの景観が失われていなければ、間違いなく日本一の景観となるでしょう。

NPO法人環境みらい下関
理事 高山 剛

お知らせ

平成 24 年度第 2 回理事会の開催結果について

先月 8 月 9 日今年度第 2 回理事会を開催し下記の議題を審議いたしました。

記

- (1) シンボルマーク等の使用デザインについて
- (2) 第 10 回下関市エコフェスタ 2012 の企画について
- (3) 10 周年記念誌の編集と今後の方針について
- (4) その他
 - ①10 周年記念事業（講演シンポジウム等）について
 - ②機関誌の充実について
 - ③職員の採用について

審議結果

- (1) については、下記のデザインに決定（シンボルマーク、キャラクター、ロゴマーク）
- (2) については、当日 10 月 14 日（日）13 時より、長崎大学環境科学部中村修准教授より講演をいただく。なお演題は「ごみゼロ社会の実現は“どこまで”“どのように”」（仮題）で願います。その他の内容については、概ね昨年度と同じ。
- (3) については、ワーキンググループを作り、毎月会合を開き、その中で詰めていく。なお、メンバーは黒田敏夫理事、橋本隆洋理事、中野清美理事が指名された。
- (4) ①について、来年 10 周年としてのイベントを行う。その企画を今後行う。
②について、機関誌の紙面を活用して頂くため、環境に関する取り組みについて、企業・学校等の取り組み、行政の取り組みに紙面を活用して頂く。それに NPO の活動紹介（教室等の紹介写真を組み込み）を行う
③について、簿記の資格を持ち、弥生会計での経理処理ができ、Word、Excel の出来る方を希望と説明。

記

・シンボルマーク



・キャラクター



・ロゴマーク



ボランティアの募集をしています

今年度より、下関市生涯学習まちづくり「出前講座」に「207 環境教室」として「牛乳パックでハガキ作り（紙すき）、新聞紙などでエコバック作りを体験し、ごみの減量を考えます。」の内容で登録いたしました。

登録後、この講座に多くのお問い合わせ等（当法人に）頂いており、今後もお要望にお応えするためにも、一緒に活動頂けるボランティアの方の力が重要です。

循環型社会づくりの為に一緒に活動してみませんか

ご希望の方は、NPO法人環境みらい下関（TEL083-252-7220）へお問い合わせください。



9月のリサイクル教室のご案内



曜日	日時	講座名 講師名	講座内容
火	4日 10～15時	組みひも 津森 美智子	古布及び毛糸などを利用して、帯締めや各種ヒモ類を作ります。 持参する物：参加料 400 円・弁当・裂き布・毛糸など 定員：4名
	11日・25日 10～12時	着付け 津森 美智子	着物の着方、名古屋帯の着方。 持参する物：参加料 400 円・着物・帯・その他小物 定員：10名（2日間参加できる方限定）
	11日・25日 13～15時	和服のリサイクル 芳川 妙子	着物や帯で袋物やベストを作ります。 持参する物：参加料 400 円・ゆかた・着物・帯・裁縫道具 定員：10名（2日間参加できる方限定）
	11日 10～12時	廃食油で石けん作り 福井 和恵	ご家庭の廃食油を材料にして石けんを作ります。 持参する物：参加料 150 円・エプロン 定員：20名
水	5日・19日 10～12時	布あそび 森田 芙路恵	古布で、今着たい服を作ります。 持参する物：参加料 400 円・不用の布・裁縫道具 定員：15名
	19日 13～16時	古布でぞうり作り 佐藤 緑	持参する物：参加料 400 円・30 cmものさし・はさみ 洗濯バサミ 2個 綿で縦布(幅 10 cm、長さ 60 cm)40本（幅 9 cm、長さ 75 cm)1本 （幅 2 cm、長さ 35 cm)4本（幅 6 cm、長さ 45 cm)1本 定員：10名 9月21日と2日間できる方限定。
木	6日・20日 10～14時	古布で小物 永岡 ハツエ	古布で「季節の小物」を作ります。 持参する物：参加料400円(材料代別)・裁縫道具・手芸用ボンド 軽食 定員：10名（2日間参加できる方限定）
	13日・27日 10～12時	パッチワーク 小笠原 典子	ミニタペストリー・バッグ・小物などを作ります。 持参する物：参加料 400 円・裁縫道具・材料のハギレ 定員：10名
	13日・27日 13～15時	毛糸で小物 内田 チズ子	最初はあまり毛糸でタワシを作ります。 持参する物：参加料 400 円・中細くらいの毛糸・カギ針 4～5号 定員：10名
	13日・27日 13～16時	表具 森 宏司	掛け軸や色紙掛けを作ります。 持参する物：参加料 400 円(材料代別) 定員：5名(2日間参加できる方限定)
金	21日 13～16時	古布でぞうり作り 佐藤 緑	19日の続きから編みます。 2日間参加できる方限定。
	14日・28日 10～12時	裂き織り 小笠原 典子	木綿や絹の古着を裂いて、バッグ・インテリアグッズを作ります。 持参する物：参加料 600 円・木綿や絹の古着・ハサミ 定員：8名
土	1日・15日 10～12時	布のリフォーム 高田 和代	古い着物や衣類を蘇らせ、自分だけの一着を作ります。 持参する物：参加料 400 円・裁縫道具・解いた服や着物 定員 10名：
日	9日・23日 10～12時	ガラス工芸 木下 照親	ガラスに砂を吹き付け削り、オリジナル絵柄作品を作ります。 持参する物：参加料：1回 400 円・ガラス製のコップ・鉛筆 定員：10名
	2日 10～12時	ベランダ菜園 サークル 久田 豊樹	ベランダ菜園について講話（土づくり） 持参する物：参加料無料 定員：10名

◎教室の申込み方法◎

9月1日（土）午前10時～電話受付を開始します

<申込みが少数の場合及び、講師の都合等により中止や延期になる場合がありますので、ご了承ください>

しものせき環境みらい館 は、

「見て」「聞いて」「触れて」「楽しみながら」
リサイクルの体験・学習ができます。



第10回



下関エコフェスタ

10/14

日 9:30~15:00

しものせき環境みらい館

“地球温暖化対策及び資源循環型社会の形成を目指し”

- 環境講座（講演会）
- 企業出展（活動状況等）
- リサイクル教室の作品展 など
- ・紙すき、エコバッグ、紙しばい、絵本の読み聞かせ、エコかるた
小枝クラフト、ペットボトルでおもちゃ作りなどの体験教室も実施



フリーマーケットも同時開催

しものせき環境みらい館 ご利用案内

- 開館時間 10:00~17:00まで
 - 休館日 月曜日（祝日の場合は開館し翌日休館）
- サンデンバス停「垢田」「稗田中央」より徒歩 約5分
電話 (083) 252-7220 FAX (083) 252-7222
<http://www.kankyo-mirai.jp> eco@kankyo-mirai.jp

